



## 外国出張報告書

平成 27 年 1 月 20 日

1. 出張国名           タイ、ラオス、マレーシア
2. 出張月           平成 26 年 11 月～12 月
3. 出張目的           ①森林の炭素蓄積能力及び林産物収穫許容量の評価  
                          ②林産物の持続的生産のための休閑林の管理手法の開発  
                          ③熱帯林の断片化がフタバガキ科樹種の雑種化に与える影響の解明  
                          ④森林生態系の炭素収支解明および省力化手法の開発：C
4. 成果の概要  
    ①タイ王室森林局（RFD）で開催された **Joint Meeting** に参加し今年度の成果を報告した。タイ南部のチーク人工林の現状を調査した結果、調査した林分に関してはチークの成長はよく、材の心材率も高かった。  
    ②ラオス国立農林研究所（NAFRI）で開催された現地検討会に参加し、今年度の成果を発表した。  
    ③Selangor 州の Hulu Langat 森林保護区内の調査で *Shorea* 属の雑種個体を確認することができた。  
    ④Nakhon Ratchasima 県の Sakaerat 造林研究ステーションにおいて生産力調査を開始することを決定した。